

## 平成 25 年度 地区別計画推進研修会報告

開催日時 平成25年9月12日（木）午後2時から4時まで  
開催場所 瀬谷区役所5階大会議室  
参加者数 84名（地域60名、CP4名、その他20名）  
内 容 地域で求められる「日頃の見守り」とこれからの活動展開  
講師 横浜国際福祉専門学校 顧問 豊田 宗裕 氏

- 1 研修会のねらい
- 2 取り組みの必要性についての再確認
  - (1)市域の状況から見ると／「孤立予防対策検討委員会」報告書 平成24年10月
    - ①人口や世帯の状況 ②要支援者（世帯）の増加 ③人間関係・地域での関係
  - (2)瀬谷区における状況を見ると／第2期地域福祉保健計画から
    - ①区の特徴 ②保健福祉活動の特徴 ③地域活動の状況
- 3 これまでの見守り事業の状況（情報の共有）
  - ①まちの防災知恵袋 ②災害時要援護者避難支援事業 ③気づきのキャッチ・見守りのリレー事業 ④ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業
- 4 地区において具体的な取り組みを進めるために  
\*以下の項目について、各地区で意見交換を行い、数地区が報告をした。
  - (1)今までの地区での取り組み状況について
  - (2)事業を実施する中での評価として
  - (3)今後の対応として
- 5 日頃の「見守り・支え合い」について、どのようにとらえるか
  - (1)「見守り支援」が求められるのは、どのような方か
  - (2)「見守り」について、どのように考え、「支え合い」の仕組みをどのようにつくるのか？

→ 地域での見守り・支えあいの体制は、形にとらわれることなく地域の実情に合わせて展開する。現在展開されている事業を、継続・発展させていくことが基本（同様の主旨を持っている事業は、継続して、合同で取り組む事で効果も期待できる）



## アンケート結果

回答者数45名

(1) 研修の内容は、今後のご自身の地区の見守りや防災活動に役立てることができますか？

とても役立てることができる(23)

少し役立てることができる(15)

あまり役立てることができない(1)

どちらともいえない(3) 無回答(3)

### 【理由】

#### 《阿久和北部》

- 現在取り組んでいることを継続・発展させていくことについては、研修の内容を参考にどんどん進めていこうと意識を高めることができました。

#### 《阿久和南部》

- 他地区のお話が聞けてよかったです。
- 行政が提案する事業を一本化、統一すると活動がしやすいと思います。一覧表がとても見やすく、地区社協2年目の私にとってわかりやすいお話でした。

#### 《三ツ境》

- 福祉保健活動への参加率が低い点。若い方が入りやすい活動に着目し福祉に興味を持ってもらう。
- 現在、「三ツ境地区まちづくり委員会」を6月に立ち上げ見守り体制作りを推進中で豊田先生及び各地区のプレゼンを聞いて今後の委員会を進めていく良いヒントをいただいた。(この委員会は連合自治会と地区社協が協働して推進しております)

#### 《瀬谷第一》

- 現在行っている、WAT活動の意義が再確認でき、さらに進めることで防災へとつながると思われる。
- 理論では理解出来てもアパートなど自治会未加入者などの課題がある。

#### 《本郷》

- 見守り、防災活動の具体的事例を含めた啓発(広報)のために全世帯配付(又は班回覧)が重要であると感じた。
- 「顔の見える関係づくりから、災害時の助け合いへ」の提言について、本郷地区の実情に合った形で展開していくのか。地区社協と連合自治会との合同で検討委員会を設置していくことを必要と感じました。

#### 《瀬谷北部》

- 顔の見える見守り活動は以前から取りくんでいると思っている。
- 他地区の取り組みが聞けたこと。見守りの大切さ。

#### 《瀬谷第二》

- 第二地区の今までの活動を続けることで孤立する人達を少なくすることが出来ると思う。研修の内容にそった活動をしてきたと考えている。
- 見守りの事業については、個人的には理解し活動もしているつもりですが、自治会として組織だったものと成っておりません。今後の参考として役立てたいと思っております。

#### 《細谷戸》

- 支え合いの体制作りが大切な要素という事、改めて実感させられた。
- 当連合では高齢者70歳以上のひとり暮らしの人達を対象に見守り活動を行っている。もしもの時に役

に立つ「安心キット」を全員に配布し、緊急時の連絡・かかりつけの病院・医者・薬等記載されている。

#### 《瀬谷第四》

- 瀬谷第四地区はすでに地域の問題をみすえて、具体的に活動を開始している。今後活動していく上で参考にしていきたい。
- 私たちの地区は防災・見守り等について先行的な事業を推進しているため。現在の事業をこれからも継続させて行くことで今後も活動をして行く。

#### 《南瀬谷》

- 地区の人達と今までの活動等について話し合うことにより、現状の把握、今後の課題が見つけれられてよかった。
- 地区の方々と状況を再確認できた。良いところ、これからやらなければいけないことも共有できた。

#### 《宮沢》

- 発表された地区の活動が具体的で、参考になった。矢張り文面（チラシや活動報告）を見るより、その地区の人のナマの声を聞くことは良かった。
- 各地区の取り組みについて参考になった。連合自治会と地区社協との一体的な取り組みが必要である。

#### 《相沢》

- 他地区の事例が参考になる。
- 他地区の問題点の把握。

(2) 本日の研修のご質問やご感想、現在の地区活動で感じていることなどあれば、ご自由にご記入ください。

#### 《阿久和北部》

- 一年で交代する自治会長と地域の取り組みとの関係、なかなか難しい。自治会長とは別に、取り組む人材を確保することが必要。
- まだまだ「見守りあい」を自分のこととして考えてはいない人々が多く、住民全員の意識、おもいを1つにすることが今後の課題だと感じています。

#### 《阿久和南部》

- 横浜市の中の瀬谷区の特長がわかって良かった。個人情報保護関連で活動しづらい事が多い。地区活動の担い手不足や同じ人が兼任していて大変だと思う。地域ケアプラザさんの協力が大きくありがたく思っています。連合・社協・民生との検討委員会、必要だと思いました。
- 担い手の高齢化。各団体との協力が必要と感じている。

#### 《三ツ境》

- 新事業は連合と共同で作業を進めているが、積極的にかかわってくれている。大きな変化だと思っている。
- 各地区ごとに体制が出来ているので大変参考に成りました。継続して合同で組むことで効果が期待できる。

#### 《瀬谷第一》

- もっと動いてくれる人、手伝いの方、人探しが大変。同じ人に仕事が集まってしまうのが問題です。
- 地区活動の担い手の不足。次の担い手の不足。個人情報の悪さ、理解の不足。

《本郷》

- 活動の幅が広がっており、協力者の顔は皆同じであり、高齢者が多い。活動を継続していくには協力者の拡大（若い人達）を図る必要がある。

《瀬谷北部》

- 民生児童委員と共に地区社協の活動を共に進めたいがまだ時間がかかりそう。

《瀬谷第二》

- 「顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」の取組を連合自治会・社協・各自治会・民児協・他団体が連携を図り一丸となり進めていきたいと考えています。
- 他自治会の活動状況を聞いて、正直驚いております。頭の中で考えていても中々実行できずにおりますので、今後は真剣に取り組みたいと思っております。

《瀬谷第四地区》

- 他の地域の発表を聞いて、地区社協と連合自治会との連携が重要で、必要性のあることを痛感した。
- 引っ越された世帯（特にアパート、マンション）の世帯の自治会に入る割合が目立つ様な今日です。自治会に入る必要性はどうすれば良いか良い考えは？

《南瀬谷》

- サロンでの男性の参加者をどう集えれば良いか。老夫婦、老老介護のあり方。
- 地区別計画が2期目に入り、より難しい課題に向かっているように思います。継続するからこそ生まれる成果と課題は永遠に続くから・・・こういう機会は大切でした。

《宮沢》

- 連合自治会、社協、民児協での活動が（合同で）はじまろうとしています。地域にとって、とても心強い事と思います。
- 社協の活動は目に見えるものではないために、町内会長も気づかない面がある。社協の見守り活動を自治会の中でも情報の共有化を図っていきたい。

《相沢》

- 担い手が少なくなっている。
- 社協と連合との関わり。